



消防大学校だより

予防科における教育訓練

消防大学校では、専科教育において、予防業務の指導の立場にある職員を対象として、予防業務に関する高度な知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に「予防科」を設置しています。

令和4年度は、予防科第112期が8月24日から10月14日までの52日間（3日間は各消防本部や自宅でのリモート受講）実施し、30名の学生が卒業しました。

講義では、消防庁において審議官による講話や予防課長による予防行政の動向のほか、多くの消防本部から消防職員を講師として迎え、消防同意や消防用設備等の審査・検査要領をはじめ、危険物規制及び火災調査の基礎等についてご講義いただきました。

新たな取り組みとして、令和4年度消防庁予防業務優良事表彰本部から講師を招き、電子申請関係の推進やコロナ渦を踏まえた消防広報のあり方について講義いただいた他、小・中規模消防本部で先進的な取り組みを行っている消防本部からも講師を招聘し、図上訓練を用いた違反是正等について論じていただくとともに、シュミレーション訓練を通じ、各学生の所属する様々な規模の本部に、より現実的で実効性の高い講義・演習を行いました。

また、防火管理委託業務を請け負う民間企業講師の講義では、消防職員による指導に対する受け止め方、そこに温度差が発生するケースもあることを知り、指導が一方通行になる危険性を認識したことから、普段からの相互のコミュニケーションが重要だと学びました。

法令等の知識や予防実務の講義だけでなく、関係者に対して適切な指導をする上での交渉術を身につけるため、警察庁指定広域技能指導官による説得技法や危機管理広報として報道対応演習、パワーポイント資料の作成要領など、指導者として必要な知識・技術の習得のための講義は、多くの学生から好評を得ました。

課題研究では、学生が職場で抱えている問題等を持ち寄り、現在の社会情勢を踏まえ、新しい発想や考え方に基づいて、将来あるべき予防行政について検討を重ね、日課だけでなく課外においても、図書館で文献を調べた



違反是正図上訓練



消防庁での講義後の様子
※撮影時のみマスク離脱

り、寮の談話室で討議を行うなど、熱心な取り組みが行われました。

発表は、消防庁予防課から講評者を迎え、各班とも緊張の中、満足のいく発表ができ、活発な意見交換ができました。

学生からは入校当初の目標を達成することができ、大変有意義であったとの意見が多く寄せられました。同じ目標を持つ仲間が全国から集い、入校期間中は様々な意見を交わすことができたことは、大変貴重な経験であったと思います。

今後は、消防大学校で習得した知識・技術や課題研究での取り組みを、それぞれの所属で日々の業務に活かしていただき、指導者として、「やるなら今しかない！」の精神で地域の安心・安全のためにご活躍されることを心から願っております。



消防大学校だより

航空隊長コースにおける教育訓練

消防大学校では、航空隊長コース第22回（令和4年12月1日から12月14日まで）を約2週間の日程で実施しました。

本コースは、緊急消防援助隊の航空部隊の隊長等に対する教育を主眼として、航空隊の運用・活動統制・安全管理・広域応援等を学び、その業務に必要な知識及び能力を修得させることを目的としています。

今年度については、計60名の消防防災航空隊の隊長、副隊長が受講しました。

研修では、「航空法規」、「航空工学」などの基礎的知識をはじめ、消防庁幹部職員による「航空消防防災の現況」や「消防広域応援の対応」の講義、自衛隊・警察庁・海上保安庁による「他機関との連携」に関する講義、埼玉県防災航空センター隊長からの「航空機運用の新たな取り組みについて」、「群馬県防災ヘリ墜落事故について」のほか、自らが経験した活動事例について個々に発表し、討議及び研究を行う「災害活動事例研究」を学びました。

さらに東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震における航空受援体制及び令和元年台風19号並びに令和2年7月豪雨活動など全国の航空隊から応援を受けた被災地防災航空隊の隊長を講師に招き、受援体制や活動事例について講義していただきました。

また、校外研修では、埼玉県防災航空センターの視察研修を行い、他県の防災航空隊のCRM体制や装備等を学ぶことで自隊に持ち帰りたいと学生から多くの意見をいただきました。

さらに、研修を終えた学生からは、「新型コロナウイルス感染拡大の中、今までのような生活様式ではないものの全国の消防防災航空隊の方と貴重な情報交換や親睦を深めることができた。」、「航空業務における各隊の共通する諸問題、航空指揮者としての課題等を十分に討議することができた。」、「安全管理の重要性や緊急消防援助隊における受援体制が学べた。」等の意見が寄せられました。

今後は、消防大学校で修得した幅広い知識を糧にし、安全運航を第一に、機動力を活かした消防防災航空隊の充実強化と大いなる活躍が期待されます。

そして、今回このような新型コロナウイルス感染拡大する環境下の中、コースが開催できたことに所属及び各都道府県関係者並びに学生を快く送りだしていただきましてご家族に感謝申し上げます。

～守・刃・離～



航空受援シミュレーション訓練



災害事例研究発表



視察研修（埼玉県防災航空センター）



視察研修（総務省消防庁）

問合せ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712